2026 年度　神戸 2030 ビジョン推進会議

日　時：2026 年 11 月 4 日（水）15:00～

場　所：神戸市役所１号館 14 階　大会議室

議　事　次　第

（ 配 付 資 料 ）

１　開会	資料１　神戸 2030 ビジョン推進会議委員名簿
２　議事 （１）神戸 2030 ビジョン推進会議 評価・検証の進め方 （２）神戸市総合基本計画の 周知・浸透の取組	資料２　神戸 2030 ビジョン推進会議 評価・検証の進め方 資料３　神戸市総合基本計画の 周知・浸透の取組
３　閉会	参考資料１　神戸 2030 ビジョン推進会議開催要綱 参考資料２　神戸市総合基本計画リーフレット 参考資料３　新しい地方経済・生活環境創生交付金等・ 企業版ふるさと納税実績シート

資料１

神戸２０３０ビジョン推進会議　委員名簿

会　長（敬称略）

神戸大学大学院　法学研究科　教授	品田（しなだ）　裕（ゆたか）

委　員（五十音順、敬称略）

甲南大学　経済学部経済学科　教授	石川（いしかわ）　路子（のりこ）
一般社団法人　兵庫県中小企業診断士協会　理事	稲垣（いながき）　賢一（けんいち）
連合神戸地域協議会　議長	加藤（かとう）　明（あきら）
La vie est belle 株式会社 「おやこの世界をひろげるサードプレイス PORTO」代表	佳山（かやま）　奈央（なお）
株式会社三井住友銀行　公務法人営業第二部　部長	木村（きむら）　佳央（よしお）
iC 株式会社　代表取締役	佐合（さごう）　純（じゅん）
P&G ジャパン合同会社　執行役員 広報渉外本部　シニアディレクター	住友（すみとも）　聡子（さとこ）
龍谷大学　社会学部総合社会学科　講師	竹内（たけうち）　友章（ともあき）
特定非営利活動法人 Oneself　理事長	中野（なかの）　みゆき
西日本旅客鉄道株式会社　理事 （近畿統括本部副本部長・兵庫支社長）	平田（ひらた）　恭子（きょうこ）
Artist in Residence KOBE（AiRK） 一般社団法人 ハイム　代表理事	松下（まつした）　麻理（まり）
一般社団法人兵庫県中小企業家同友会　代表理事	村川（むらかわ）　勝（まさる）
兵庫県立大学環境人間学部　教授	山瀬（やませ）　敬太郎（けいたろう）

資料２

神戸2030ビジョン推進会議
評価・検証の進め方

神戸2030ビジョンの概要

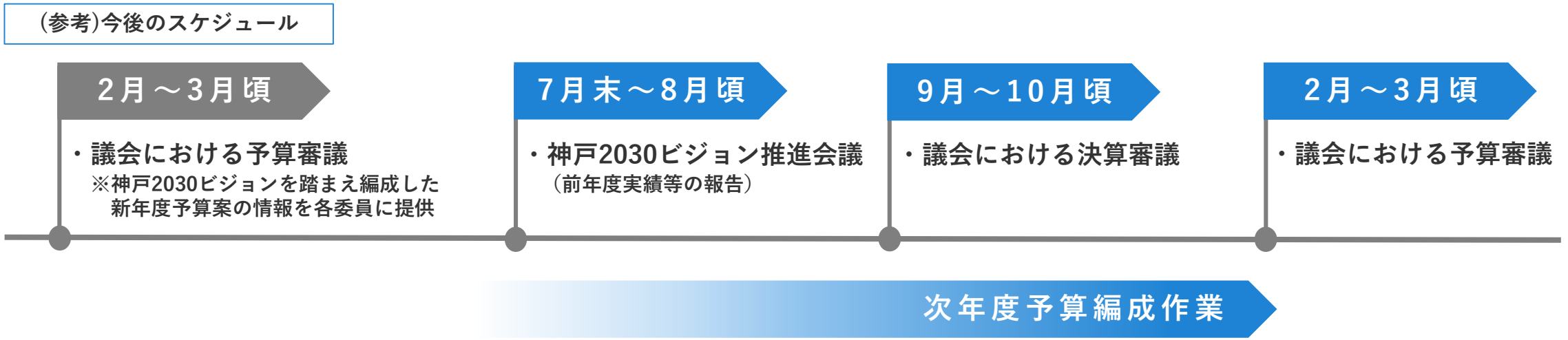
- **構成**
  - 神戸2030ビジョンでは、第６次神戸市基本計画に掲げる都市像の実現に向けて、今後10年間に取り組む３つの方向性を踏まえ、今後５年間の基本政策及び主な施策、KPIを体系的に整理。

- **KPI**
  - KPIは行政に関連する様々な指標の中から、基本計画のKGIの達成につながり、毎年の数値を把握でき、かつ市の施策によって改善が期待できる指標とし、加えて、幅広い政策分野の水準を今以上に高めることを目指すため、自治体経営の土台となる幸福度を測るWell-Being指標の客観指標もKPIとして設定。（参考：KPIは全21指標を設定※重複除く）
  - 10年後の都市像の実現に向けた達成度を適切に測定しながら、必要に応じてKPIの見直し（追加・修正・削除）を行い、柔軟に運用。

- **予算とのつながり**
  - 変化の激しい時代においては、施策も柔軟に変化させることが求められるため、個別事業については、神戸2030ビジョンに掲げるのではなく、計画に沿って毎年度の予算編成において具体化する。

評価・検証の進め方

- 神戸2030ビジョンの進行管理の検証や改善に関する検討を行うために、神戸2030ビジョン推進会議において、本市からKPIの各年度実績等を報告し、委員の皆様から専門的な見地に基づくご意見をいただくこととしている。
- 次年度以降は、議会における決算審議に先立って神戸2030ビジョン推進会議を開催し、いただいたご意見を次年度予算編成に生かす効果的なPDCAサイクルを実践していく。



（参考）神戸2030ビジョンに掲げる基本政策と主な施策

方向性Ⅰ　世界と繋がる２つの港「新たな時代の国際都市」へ

基本政策	主な施策
多様な交流を通じて世界で活躍する人材の育成を進める	• 神戸空港の国際化への対応 • 陸海空の広域交通結節機能の強化 • 神戸経済のグローバル化推進 • 革新的な起業・創業支援 • 文化芸術・スポーツの振興
新たな時代の国際都市にふさわしい都市の魅力をつくる	• 都心・三宮再整備 • ウォーターフロント地区の魅力向上 • 都心・ウォーターフロントの回遊性向上 • 観光誘客の推進 • 森林・里山の再生 • 六甲山・摩耶山等の活性化 • 文化芸術・スポーツの振興（再掲）

（参考）神戸2030ビジョンに掲げる基本政策と主な施策

方向性Ⅰ　世界と繋がる２つの港「新たな時代の国際都市」へ

基本政策	主な施策
圏域経済を牽引する大都市として、神戸経済のさらなる成長と国際競争力を高める	• 神戸経済のグローバル化推進（再掲） • 国際コンテナ戦略港湾政策の推進 • 市内産業の活性化 • 企業誘致の推進 • 就業人口の拡大 • 農水産業の活性化 • 多様な食文化の発信と地場産業の振興 • 革新的な起業・創業支援（再掲） • 大学・企業等との共創によるまちづくり • 神戸医療産業都市の推進 • 観光誘客の推進（再掲） • 多様な大都市制度の実現・自治体間連携の推進

（参考）神戸2030ビジョンに掲げるKPI

方向性Ⅰ　世界と繋がる２つの港「新たな時代の国際都市」へ

KPI	基準値（2024年）	目標値（2030年）	設定理由
神戸空港利用者数	361万人/年	700万人/年	世界に開かれ持続的に発展するまちの実現に向けて、国内外とのつながりを測るための指標を設定。
コンテナ取扱貨物量	277万TEU/年	300万TEU/年	港湾物流業の発展による、神戸経済の成長と独立した経済圏の維持・発展に向けて、神戸港に関連する経済の活性化や成長の動向を測るための指標を設定。
労働生産性 （市内就業者1人あたり市内総生産） ※本目標値は、就業者数の見通しを踏まえKGI（GDP年＋1%）から逆算して設定 ※毎年度、就業者数の見通しを更新し、目標値を再設定	970万円/人 （2025年）	年率1%増加※	独立した経済圏を支える産業の創出・発展に向けて、経済成長の度合いを測るための指標を設定。

（参考）神戸2030ビジョンに掲げるKPI

方向性Ⅰ　世界と繋がる２つの港「新たな時代の国際都市」へ

KPI	基準値 （2024年）	目標値 （2030年）	設定理由
大学発スタートアップ 創出数	36件 （2020～2024年累計）	120件 （2025～2030年累計）	知の拠点である大学が創出するイノベーションや人材を活用したスタートアップを産官学一体で支援・育成し、神戸経済の成長と独立した経済圏の維持・発展に向けて、その進捗を測る指標として設定。
海外展開に取り組む企業の割合※ ※市独自アンケート結果（海外展開を実施している、または実施を検討している企業）より	10% （2026年3月調査予定） （2025年）	15%	世界に開かれた神戸経済の成長と独立した経済圏の維持・発展に向けて、市内企業の海外展開の動向を測るための指標を設定。
都心・三宮の滞在人口※ ※年間を通じて、三ノ宮駅半径500m圏域で15分以上滞在している延べ人数（携帯電話の位置情報から算出した推計値）	6,300万人/年	7,200万人/年	都心・三宮再整備による新たな国際都市にふさわしい都心の実現に向けて、都心部の賑わいを測るための指標を設定。

（参考）神戸2030ビジョンに掲げるKPI

方向性Ⅰ　世界と繋がる２つの港「新たな時代の国際都市」へ

KPI	基準値（2024年）	目標値（2030年）	設定理由
市内延べ宿泊者数	710万人/年	830万人/年	神戸の多彩な魅力を活かし、国内外から多くの来訪者が集い、賑わいある都市の実現に向けて、市内の観光需要を測るための指標を設定。
大学・高専の新卒者の市内就職率※ ※市内大学・高専への調査結果より	15%	18%	既存産業の発展と新産業の創出による、神戸経済の成長と独立した経済圏の維持・発展に向けて、神戸での雇用創出の度合いを測るための指標を設定。

（参考）神戸2030ビジョンに掲げる基本政策と主な施策

方向性Ⅱ　個性豊かで多様な地域の融合　「日常と非日常が交わり続ける都市」へ

基本政策	主な施策
五感を刺激する体験と魅力的な ビジネス環境を創出する都心をつくる	• 都心・三宮再整備（再掲） • ウォーターフロント地区の魅力向上（再掲） • ポートアイランド・六甲アイランド・HAT神戸の活性化 • 文化芸術・スポーツの振興（再掲） • 多様な食文化の発信と地場産業の振興（再掲）
ゆとりある上質な暮らしが生まれる 既成市街地・ニュータウンの再生を推進する	• 駅周辺のリノベーション • オールドタウン対策 • 空き家空き地対策の推進 • 商店街・小売市場の活性化

（参考）神戸2030ビジョンに掲げる基本政策と主な施策

方向性Ⅱ　個性豊かで多様な地域の融合　「日常と非日常が交わり続ける都市」へ

基本政策	主な施策
海と山を感じる豊かな自然を次代につなぐ	• 森林・里山の再生（再掲） • 農村地域等の賑わい創出 • 農水産業の活性化（再掲） • 六甲山・摩耶山等の活性化（再掲）
個性豊かなまちなみをつなぎ日常と 非日常が交わる都市をつくる	• 公共交通の維持確保 • 既存ストックの有効活用 • 多彩なライフスタイルを実現する住宅供給・流通促進 • 自転車利用環境の整備 • まちの緑・公園・街路樹の有効活用 • 観光誘客の推進（再掲）

（参考）神戸2030ビジョンに掲げるKPI

方向性Ⅱ　個性豊かで多様な地域の融合　「日常と非日常が交わり続ける都市」へ

KPI	基準値（2024年）	目標値（2030年）	設定理由
都心・三宮の滞在人口※（再掲） ※年間を通じて、三ノ宮駅半径500m圏域で15分以上滞在している延べ人数（携帯電話の位置情報から算出した推計値）	6,300万人/年	7,200万人/年	商業・業務機能の集積と魅力的なビジネス環境の整備により、国内外から多くの人が訪れる都市の実現に向けて、都心部の賑わいを測るための指標を設定。
駅勢圏が生活関連サービスを提供する市街地※にかかる市内鉄道駅の１日当たり乗降客数 ※一定程度人口が集積し、病院、学校、スーパーなど、生活に必要な施設が整った地域（DID地区）	128万人/日	基準値を維持	既成市街地やニュータウンにおいて、駅を中心とした生活利便性の向上や職住近接の取り組みにより、持続可能な地域社会づくりに向けて、駅周辺の人流を測るための指標を設定。
公共交通分担率※ ※人々の移動全体に占める鉄道やバス等の公共交通機関利用の割合を示す指標	33.1% （2025年）	35%以上	多彩なまちなみをつなぐ公共交通網の維持・充実を通じて、理想のライフスタイルを送ることができるまちの実現に向けて、公共交通網の充実度を測るための指標を設定。

（参考）神戸2030ビジョンに掲げるKPI

方向性Ⅱ　個性豊かで多様な地域の融合　「日常と非日常が交わり続ける都市」へ

KPI	基準値（2024年）	目標値（2030年）	設定理由
商店街・小売市場エリア※のにぎわい ※年間を通じて、設定エリアの圏域で15分以上滞在している延べ人数（携帯電話の位置情報から算出した推計値）	3,300万人/年	基準値を維持	まちの魅力と地域生活を支える商店街・小売市場の活性化に向けて、地域住民や来訪者による商店街・小売市場エリアの賑わいを測るための指標を設定。
里山林管理による森林資源の循環量	100㎥/年 （2025年）	300㎥/年	神戸が誇る豊かな自然を守りながら、市街地との交流を促進し、自然と調和した魅力あるまちの実現に向けて、里山林の管理状況を測るための指標を設定。
農村地域での農業参入・起業・移住数	120件/年 （2020～2024年平均）	基準値以上	神戸が誇る豊かな自然を守りながら、市街地との交流を促進し、自然と調和した魅力あるまちの実現に向けて、農村地域の賑わいを測るための指標を設定。

（参考）神戸2030ビジョンに掲げる基本政策と主な施策

方向性Ⅲ　ともに乗り越え育んだ絆「いつまでも幸せを感じ、分かち合える都市」へ

基本政策	主な施策
多様な主体や団体の協働や支え合いにより、誰もが安心して夢に向かって挑戦できる社会をつくる	• 地域活動の支援 • 大学・企業等との共創によるまちづくり（再掲） • 外国人との共生 • いきいきと活躍できる場の創出 • 文化芸術・スポーツの振興（再掲）
子育てと仕事の両立を支え、こどもたちの健やかな成長と豊かな感性を育む	• 子育て世帯の経済的負担の軽減 • 子育て環境の充実 • 女性活躍の推進 • 教育・保育環境の充実、保育人材の確保 • 教育環境の充実 • 体験機会の充実 • こどもの外遊びの推進 • コベカツの推進

（参考）神戸2030ビジョンに掲げる基本政策と主な施策

方向性Ⅲ　ともに乗り越え育んだ絆「いつまでも幸せを感じ、分かち合える都市」へ

基本政策	主な施策
きめ細かい多様な支援により誰もが安心して健やかに暮らせる環境をつくる	• 健康づくりの推進・医療の充実 • 高齢者施策の充実 • 障害者施策の充実 • 不登校児童生徒に対する支援 • 児童虐待防止対策の強化 • 孤独・孤立対策 • 生活困窮者等に対する支援 • 地域活動の支援（再掲）
ともに困難を乗り越えてきた絆と経験を活かし、あらゆる危機から市民の安全・安心を守る	• 災害対応力の向上 • 救急医療・消防体制の強化 • くらしの安全・安心を守る • 高温常態化対策 • 物価高騰に対する生活支援 • 安全で快適な住環境を支える • 森林・里山の再生（再掲）

（参考）神戸2030ビジョンに掲げる基本政策と主な施策

方向性Ⅲ　ともに乗り越え育んだ絆「いつまでも幸せを感じ、分かち合える都市」へ

基本政策	主な施策
既存資源を活かしながら新たな価値創出と循環型社会に貢献する	• 持続可能な資源循環の促進 • 再生可能エネルギーの拡大 • 水素スマートシティ神戸構想の推進 • 森林・里山の再生（再掲）
デジタル技術の活用と行政機能の強化により、便利でわかりやすい市民サービスを提供する	• デジタル化による市民サービスの利便性向上 • 行政施設の機能強化
国内外に貢献する持続可能な大都市をつくる	• 多様な大都市制度の実現・自治体間連携の推進（再掲） • 行政基盤を支える働き方改革の推進 • EBPMの推進

（参考）神戸2030ビジョンに掲げるKPI

方向性Ⅲ　ともに乗り越え育んだ絆「いつまでも幸せを感じ、分かち合える都市」へ

KPI	基準値（2024年）	目標値（2030年）	設定理由
地域活動の活性度※ ※「地域貢献相談窓口を通じた伴走件数」「ぼらくるの登録者数」を合わせた複合指標	3,000件/年 （2025年）	5,000件/年	多様な人々が地域でつながり支え合い、誰もが安心して挑戦できる、主役になれるまちの実現に向けて、地域活動の活性化に向けた支援の状況を測るための指標を設定。
子育て関連事業の利用者満足度※ ※３歳児健診を受診する児童の保護者を対象としたアンケート結果	90% （2025年）	基準値以上	子育て環境の充実を通じて、子育てと仕事の両立ができるまちの実現に向けて、子育て支援の満足度を測るための指標を設定。

（参考）神戸2030ビジョンに掲げるKPI

方向性Ⅲ　ともに乗り越え育んだ絆「いつまでも幸せを感じ、分かち合える都市」へ

KPI	基準値（2024年）	目標値（2030年）	設定理由
課題の解決に向けて、自分で考え自分から取り組んだ児童生徒の割合※ ※文部科学省が小６、中３を対象に毎年実施する全国学力・学習状況調査の結果	小6　78.0% （全国平均▲2.3%） 中3　72.5% （全国平均▲5.2%） （2025年）	全国平均以上	子育てや教育環境の充実を通じて、子どもたちの健やかな成長と豊かな感性が育まれるまちの実現に向けて、子どもの主体的な学びの姿勢を測るための指標を設定。
運動やスポーツをすることが好きな児童生徒の割合※ ※スポーツ庁が小５、中２を対象に毎年実施する全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果	小5男 93.2% （全国平均▲0.2%） 小5女 85.3% （全国平均▲0.5%） 中2男 90.1% （全国平均▲0.8%） 中2女 76.4% （全国平均▲0.8%） （2025年）	全国平均以上	子育てや教育環境の充実を通じて、子どもたちの健やかな成長と豊かな感性が育まれるまちの実現に向けて、子どもの健康や運動習慣の状況を測るための指標を設定。

（参考）神戸2030ビジョンに掲げるKPI

方向性Ⅲ　ともに乗り越え育んだ絆「いつまでも幸せを感じ、分かち合える都市」へ

KPI	基準値（2024年）	目標値（2030年）	設定理由
市域における再生可能エネルギー導入量	357MW/年	500MW/年	新たなテクノロジーと先進技術を活用した循環型社会への貢献による、豊かで質の高いくらしの実現に向けて、市内での再生可能エネルギーの利用の度合いを測るための指標を設定。
公共インフラ(橋梁・上下水道)の耐震化率	74.3%	93.8%	防災力の強化による、安心して暮らせる環境の実現に向けて、生活の基礎となる公共インフラの耐震化度合いを測るための指標を設定。
新たな市政課題に対応するために創出した時間数	－	50万時間/年	人口減少や東京一極集中が進む中においても、複雑化・多様化する市政課題に対応し、行政サービスの質の向上と持続可能な行政運営の実現に向けて、「やめる・へらす・かえる」の視点やAI等を活用した業務改革により既存業務の効率化・最適化を推進し、その成果を測るための指標を設定。

（参考）神戸2030ビジョンに掲げるKPI

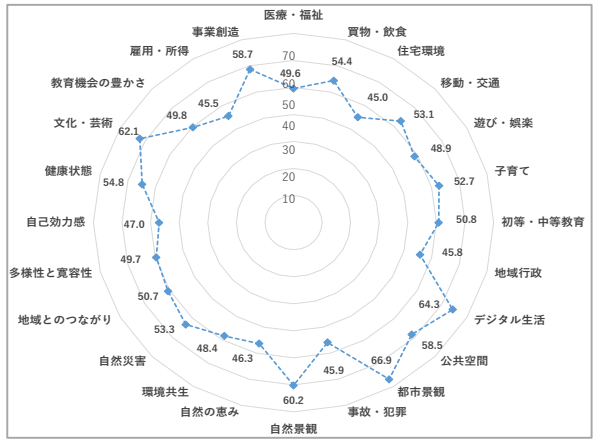
Well-Being指標に関するKPI

KPI	基準値（2025年）	目標値（2030年）	設定理由
Well-Being指標の客観指標	全指標の平均値 52.6	基準値以上	神戸市独自のKPIに加え、自治体経営の土台となる幸福度を測るWell-Being指標の客観指標をKPIとして設定することで、幅広い政策分野の水準を今以上に高めることを目指すとともに幸福度に関するKGIの達成に向けた進捗状況を測る。また、必要に応じて主観指標も参考値として活用する。

（参考）Well-Being指標の概要

国が推進する「デジタル田園都市国家構想」の実現に向けて、Well-Being指標の活用が進められています。この指標は、総合指標（幸福度・生活満足度）を最上位に置き、その要因を客観・主観両指標から分析するものです。

客観指標は、統計調査の結果等により自治体の施策の状況等を客観的に測定する指標であり、主観指標は、市民の主観によるアンケートにより各施策の市民への浸透度合い等を測定する指標です。



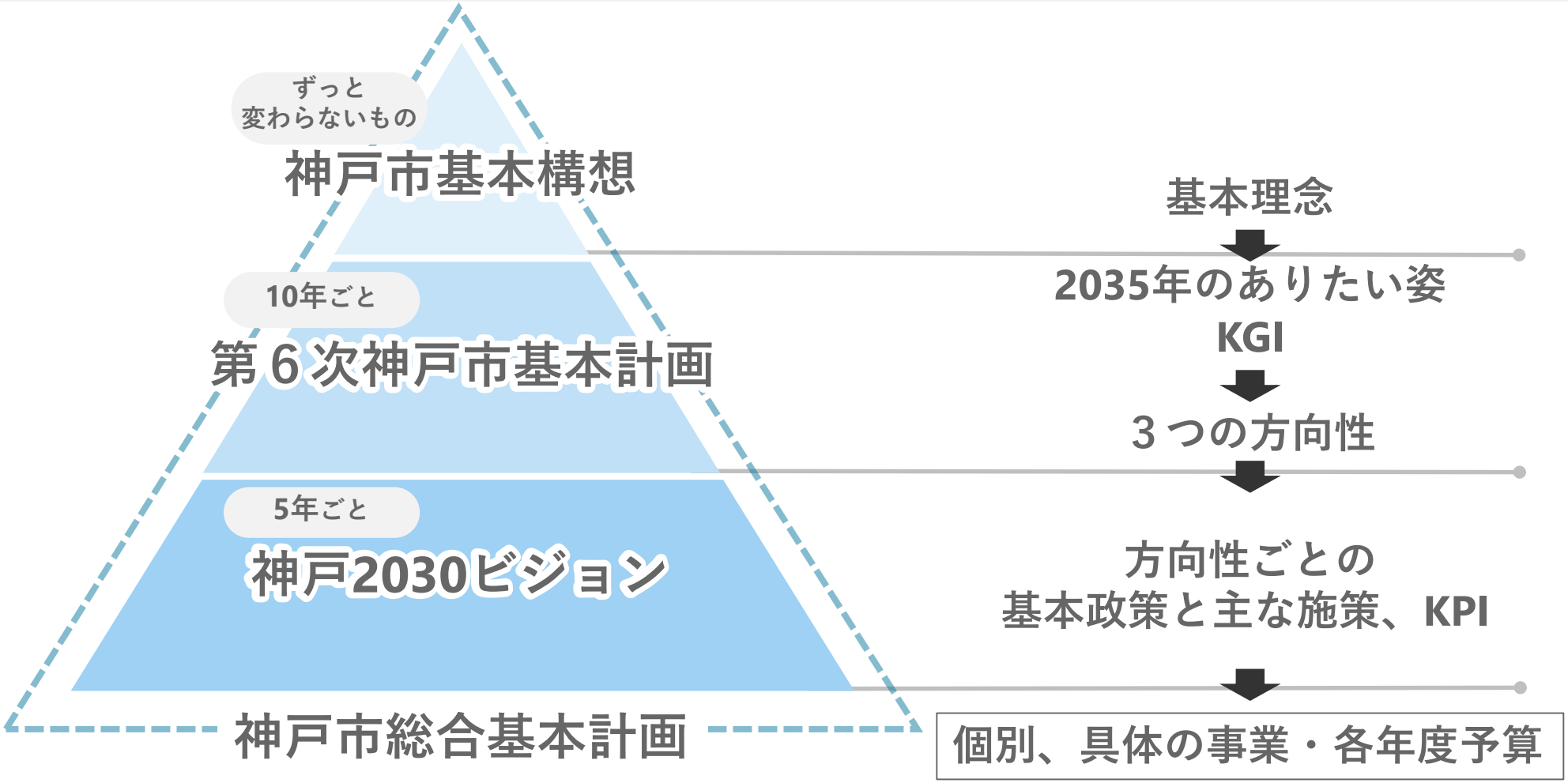
出所：一般社団法人スマートシティ・インスティテュート「地域幸福度（Well-Being）指標」

資料３

神戸市総合基本計画の
周知・浸透の取組

「神戸市総合基本計画」の概要

神戸が大切にしたい価値と目指す未来の姿を神戸に関わる方々とともに描き実現していくための共通の指針。「神戸市基本構想」「第６次神戸市基本計画」「神戸2030ビジョン」の３つの計画で構成され、2026年4月から施行。



「神戸市基本構想」策定の経緯

2023年７～12月

アンケート **約25,000名**

2023年度実施分：24,986名

ワークショップ **約250名**

2023年度実施分：12回・249名



はじめての市政参画 **約35,000名**

2023年度実施
市立小中学生を対象としたアンケート



合計　約60,000名

神戸市
総合基本計画
審議会

意見集約
素案の作成
答申

2024年12月

神戸市
基本構想
完成

「第６次神戸市基本計画」策定の経緯

2024年7月～2025年10月

アンケート　約14,300名

2024年度実施分：9,318名
2025年度実施分：5,021名

ワークショップ等　約4,100名

2024年度実施分：9回・198名
2025年度実施分：103回・3,306名
2025年度市民フォーラム等：3回・631名

はじめての市政参画　約32,600名

2025年度実施
市立小中学生を対象としたアンケート

合計　約51,000名

▶

**神戸市
総合基本計画
審議会**

**意見集約
素案の作成
答申**

▶

2026年2月

**第６次神戸市
基本計画
完成**

総合基本計画の周知・浸透に関する主な意見要旨

- **神戸2030ビジョン推進会議（2026.3.4）**

  - 総合基本計画について、市民とともに時間をかけて策定してきたが、その先の周知・浸透に向けて活動していくことが重要。
  - 職員一人ひとりが、この計画を意識し、計画に沿って業務を行えるよう、周知・浸透に取り組んでほしい。
  - 今後も関係者と推進していく形は非常に重要。神戸に関わる方々と策定してきたこの流れを続かせたい。
  - 行政の計画を外に出て説明し、ワークショップで議論することは非常に重要である。

総合基本計画の周知・浸透に関する主な意見要旨

- **神戸市会（2026.2～）**

> ➢ 市民と総合基本計画を共有し、ともに将来の神戸のまちをつくっていく機運を醸成することは極めて重要である。
>
> ➢ 計画は策定して終わりではなく、各部署の職員が新たな総合基本計画の内容を理解し、全庁一丸となって、計画の実現に向けて取り組んでいくことが重要である。
>
> ➢ 学校への出前授業等を通じて、次世代を担う子供たちに神戸のために考えてもらうことは非常に重要である。子供たちのシビックプライドの醸成にも繋がる。

⇒ 市民・関係者とともに策定してきた総合基本計画の実現には、今後も多様な主体とともに推進していくことが重要である。そのため、**市職員の計画への理解を深め、計画に沿った事業推進につなげること**、また、**市民等への周知・浸透を通じて、市政参画の機運醸成と主体的な行動につなげること**が重要。

（1）各種媒体による広報

- **実施目的・内容**
  広く市民に周知することを目的に各種媒体による広報を実施













（2）市民フォーラム

- **実施目的**
  「総合基本計画」が行政だけでなく、多様な主体がつながり、計画の実現に向けた取組が広がる流れを生み出す起点とする

- **実施内容**
  もっと話そう「2035年の神戸」のこと
  ～ともに描いた未来の神戸に向けて、私たちにできること～

  第一部：総合基本計画の紹介
  第二部：パネルディスカッション
  　　・市長とパネリストの自由討議
  　　・観客とのディスカッション

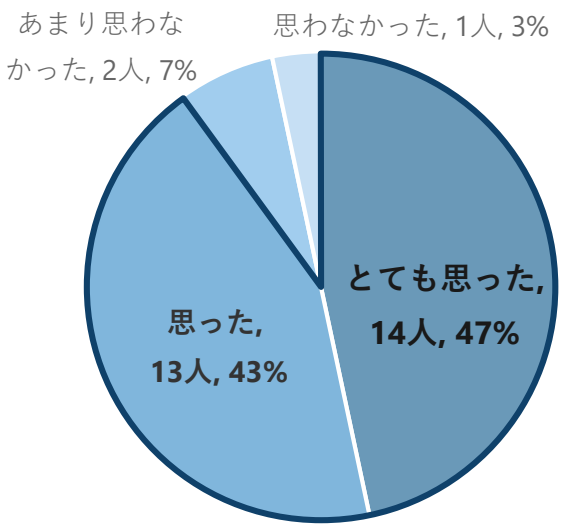
- **開催概要**
  日　　程：５月８日（金）
  場　　所：神戸三宮シアター・エートー
  参加者数：66人（関係者除く）





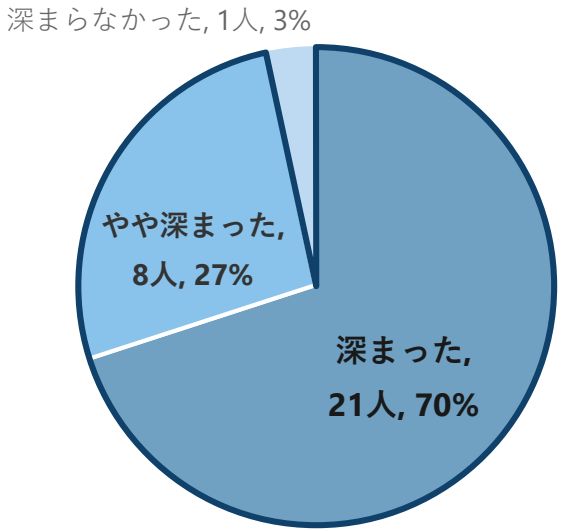
（2）市民フォーラム

「2035年の神戸」に向けて何か行動してみたいと思いましたか（n=30）



90%の参加者が「何か行動したい」と思った

神戸への愛着が深まりましたか（n=30）



97%の参加者の「神戸への愛着」が深まった



【主な自由意見】

- 観覧者との対話がとても良かったです。神戸の取組がとても良く分かりました。
- 神戸が抱える課題を学べたこと、それに加え神戸をより良い街にしたいと考えている市民の方々が多くいることを知ることができ、フォーラムに参加してよかったと強く思いました。
- 2035年の神戸を想像しながら、自分にできることを考える良き機会でした。
- 神戸市民として誇りに思える、神戸市ならではの体験学習できる機会を増やして欲しいと思いました。

（3）ワークショップ・研修

- **実施目的・内容**

市職員が学校や企業等に出向き、ワークショップを実施することで、対話を通じて計画への理解を深めるとともに、計画を自分ごととして認識してもらい、市政参画・実践の機会につなげる

※実施にあたっては「庁内副業制度」を活用し、他所属から、計18名の市職員が参画

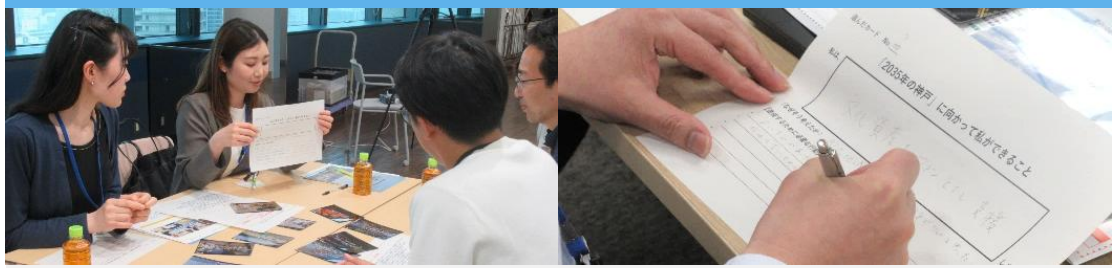
講義パート



神戸のまちの歴史や市の取り組み等を紹介

① 基本構想に掲げる３つの「神戸らしさ」に沿って、まちの成り立ち、計画の内容、今後の主な取り組み等についてご紹介
② 講義内容を振り返る動画や基本計画の「2035年の神戸」の解説動画を視聴

グループワーク



ともに描いた「2035年の神戸」の実現のために自分たちにできることとは？

①「2035年の神戸」の中で自分が最も関心のある内容を選び、その未来の姿を実現するために何ができるか考える
② 考えた内容をグループ内で共有する
③ グループ代表者による発表

ワークショップから次の一歩へ

神戸市の制度を活用した参画

地域貢献相談窓口に繋ぐ（地域協働局）	神戸市ネットモニターを増やす（広報戦略部）	探究学習の授業として継続（各学校にて実施）
73件※10月28日時点	約230名増(高校,大学・4/1比)※9/1時点	11校※10月28日時点

（3）ワークショップ・研修

● **実施状況** ※10月28日時点

※実施順に掲載

対　象	回　数	人　数
学校 【小学校】摩耶 【中学校】神戸学院大学附属中学、竜が台、井吹台 【高校等】神戸甲北、北神戸総合、六甲アイランド、滝川、神戸海星女子学院高校、兵庫、神戸高専、青楓館高等学院、長田、市立高校合同、神戸龍谷、星陵 【大学・専門学校等】甲南大、神戸学院大、神戸大、関西学院大、専門学校アートカレッジ神戸　等	43回	約4,340人
企業・各種団体等 尼崎信用金庫神戸支店、LEC東京ﾘｰｶﾞﾙﾏｲﾝﾄﾞ神戸本校、川崎重工業㈱、神戸志民党、富士通Japan㈱、(一財)神戸農政公社、異業種交流会、(公財)神戸市民文化振興財団、神戸チーズトースト実行委員会、㈱三井住友銀行、連合神戸地域協議会、㈱ラジオ関西、各区婦人会、(一社)機械金属工業会、サントリーHD㈱、(協組)神戸タグ協会、P&Gｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ(同)、㈱三菱UFJ銀行、関西電力㈱、㈱こうべ未来都市機構　等	36回	約1,030人
合計	**79回**	**約5,370人**

（3）ワークショップ・研修

● ワークショップの様子


神戸甲北高校


六甲アイランド高校


神戸学院大学


LEC神戸本校


滝川高校


川崎重工業㈱


神戸大学
（品田会長）


海星女子学院高校


神戸志民党


(一財)神戸農政公社


青楓館高等学院



神戸チーズトースト
実行委員会


㈱三井住友銀行
（木村委員）


長田高校


連合神戸地域協議会
（加藤委員）


甲南大学
（石川委員）


神戸龍谷高校


サントリーHD㈱


神戸学院大学附属中学


(協組)神戸タグ協会


P&Gｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ(同)
（中村(優)元委員）


㈱三菱UFJ銀行

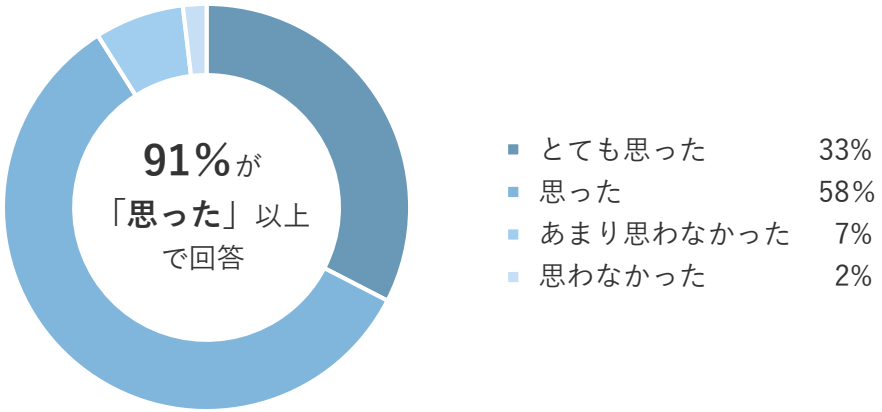

竜が台中学


専門学校アート
カレッジ神戸

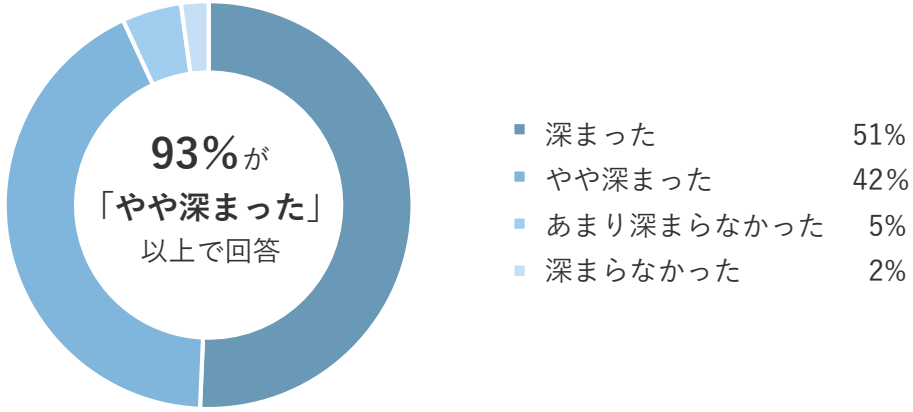
（3）ワークショップ・研修

● アンケート結果（n＝1,928, 10月28日時点）

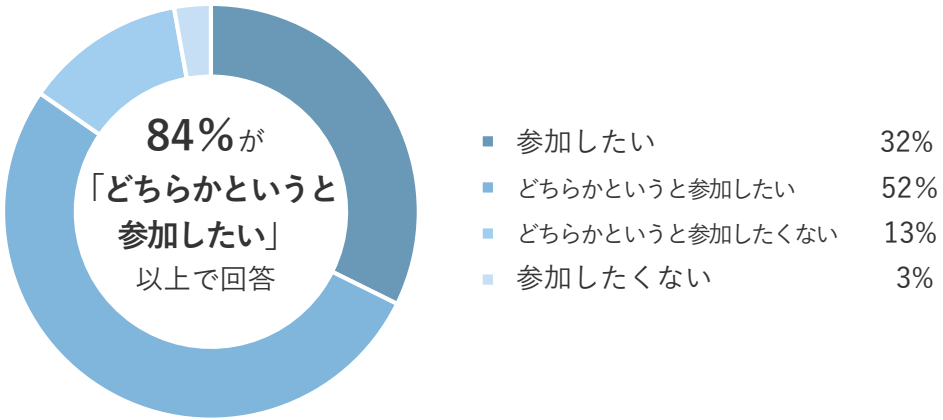
・ワークショップを通じ、「2035年の神戸」に向けて、自分も何か行動してみたいと思いましたか？



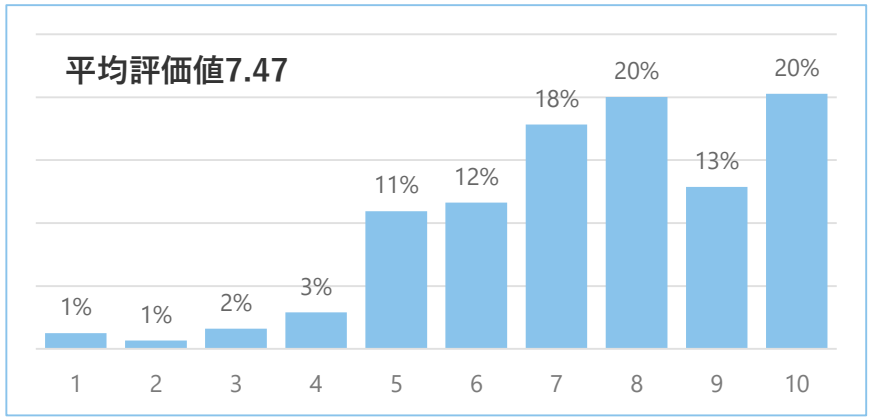
・神戸への愛着が深まりましたか？



・今後も未来を考える機会があれば参加したいですか？



・今後の活動にどのくらい参考になりましたか？



（3）ワークショップ・研修

- **アンケートの主な自由意見**
  - 行政の施策の方向性が理解でき、地域への貢献について身近なところからも取り組めると再認識できた。とても有意義な時間だった。
  - 普段神戸の未来について深く考えることがなかったが、このワークショップを通して、より良い神戸にするために高校生にもできることをたくさん考えたい。
  - 元から神戸に住んでいる人はもちろん、地元を離れて神戸に来た人も神戸をより好きになる講義だと感じた。
  - 職員の方の神戸愛も感じ、私個人としてもワークショップを通じて神戸への愛着がさらに深まった。
  - この基本計画を浸透させて官民一体で実現していこうという本気度が伝わるとともに、自分自身も行動しないといけないなと改めて思った。
  - 身近に出来ることは、たくさんあるんだと気づかされ、1日ひとつは神戸にいいことをしようと思った。

（3）ワークショップ・研修（KOBE Youth Summit: Toward 2035）

- **実施目的**
  国際都市・神戸の未来を担う高校生が、総合基本計画に掲げる「2035年の神戸」をテーマに、他校生と英語で意見や考えを交わすディスカッションを通じて、将来グローバルに活躍したいという意欲の醸成につなげるとともに、まちへの愛着やシビックプライドの向上を図る

- **実施内容**
  第一部：「総合基本計画」の紹介
  第二部：「2035年の神戸」を実現するために
  グループで選んだテーマに沿って、
  「自分にできること」について意見交換
  ※すべて英語で実施







- **開催概要（日程・場所・参加者数）**
  第１回：８月３日・神戸市役所・27名
  第２回：８月21日・ANCHOR KOBE・30名
  第３回：８月26日・ANCHOR KOBE・15名

（４）小中学生への周知・浸透

- **実施目的**
  神戸の未来を担う若年層に「総合基本計画」の周知・浸透と市政参画機運を醸成する

- **はじめての市政参画**
  内容：学習用端末で「総合基本計画」の説明動画を視聴後、「2035年の神戸」の実現に向けて自分なら何ができるかを考える
  期間：６月９日～７月８日
  対象：市立小学生(４～６年)、中学生
  回答件数：41,176件



- **社会科副読本「わたしたちの神戸」**
  小学３・４年生の社会科副読本「わたしたちの神戸」の中に基本構想の内容を掲載



（5）職員への周知・浸透

- **実施目的・内容**
  計画の実現に向けては、職員が当該計画に触れ、考える機会を継続的に設けることが重要であり、「職員が使用するPC起動画面への計画掲載」「予算執行通知・予算要求通知へ計画との連動について記載」「職員への研修」等を実施している。



PC起動時の画面への計画掲載
掲載期間：3月30日～4月10日

・令和８年度予算執行通知
「神戸市基本構想」「第６次神戸市基本計画」に掲げる理念や10年後の都市像の実現に向け、神戸2030ビジョンの基本政策・主な施策に沿って事業を推進すること。あわせて、各事業の実施にあたっては、設定したKPIに十分留意の上、事業効果の最大化に努めること。

・令和9年度経常予算要求通知
予算要求にあたっては、「第６次神戸市基本計画」に掲げる「2035年の神戸」の実現に向け、神戸2030ビジョンの基本政策・主な施策に沿って、効果的な事業を検討し、必要となる予算を要求してください。

各種通知文
記載内容抜粋









職員への研修
実施状況：26回・約1,070人※10月28日時点

（参考）「2035年の神戸」デザインコンテスト

- **実施目的**
  総合基本計画に掲げる「2035年の神戸」について、市民や学生等が自ら未来像を絵画やデジタルアートとして表現することを通じて、計画の周知・浸透を図るとともに、理解と関心を深める

- **実施内容**
  「2035年の神戸」の内容から想像する都市の姿を自由な発想で表現した手描き作品・デジタルアート作品を募集
  - 手書き部門
    水彩画、油絵、鉛筆画など、紙やキャンバス等に直接描かれた作品
  - デジタル部門
    PC・タブレット等を使用して制作された作品





- **募集期間**
  8月17日 ～ 10月31日 ※2027年1月頃に審査結果発表

- **応募件数**※10月28日時点
  手書き部門　　16件
  デジタル部門　63件

参考資料１

神戸2030ビジョン推進会議開催要綱

令和７年７月16日　企画調整局長決定

（趣旨）

第１条　神戸2030ビジョンを策定及び推進するにあたり、専門的な見地から幅広く意見を求め、計画の全体構成に関する検討及び、計画の進行管理の検証や改善に関する検討を行うことを目的として、神戸2030ビジョン推進会議（以下「有識者会議」という。）を開催する。

（委員）

第２条　有識者会議に参加する委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

(1) 学識経験を有する者

(2) 専門的知識や経験を有する者

(3) 前各号に掲げる者のほか、市長が特に必要があると認める者

２　前項の規定により委嘱する委員の人数は、15名以内とする。

３　前項までに定める他、市長は、特定の事項について専門的知識を有する者を臨時委員として参加させることができる。

（任期）

第３条　委員の任期は、委嘱の日から令和12年９月30日までとする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（会長の指名等）

第４条　企画調整局長は、委員の中から会長を指名する。

２　会長は、会の進行をつかさどる。

３　企画調整局長は、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、前項の職務を代行する者を委員の中から指名する。

（有識者会議の公開）

第５条　有識者会議は、これを公開とする。ただし、次のいずれかに該当する場合で、企画調整局長が公開しないと決めたときは、この限りでない。

(1) 神戸市情報公開条例（平成13年神戸市条例第29号）第10条各号に該当すると認められる情報について意見交換を行う場合

(2) 有識者会議を公開することにより公正かつ円滑な有識者会議の進行が著しく損なわれると認められる場合

２　有識者会議の傍聴については、神戸市有識者会議傍聴要綱（平成25年３月27日市長決定）を適用する。

（施行細目の委任）

第６条　この要綱に定めるもののほか、有識者会議の開催に必要な事項は、企画調整局政策課課長が定める。

附　則（令和７年７月16日決裁）

（施行期日）

１　この要綱は、令和７年７月16日より施行する。

（要綱の失効）

２　この要綱は、令和12年９月30日限り、その効力を失う。

神戸市総合基本計画とは

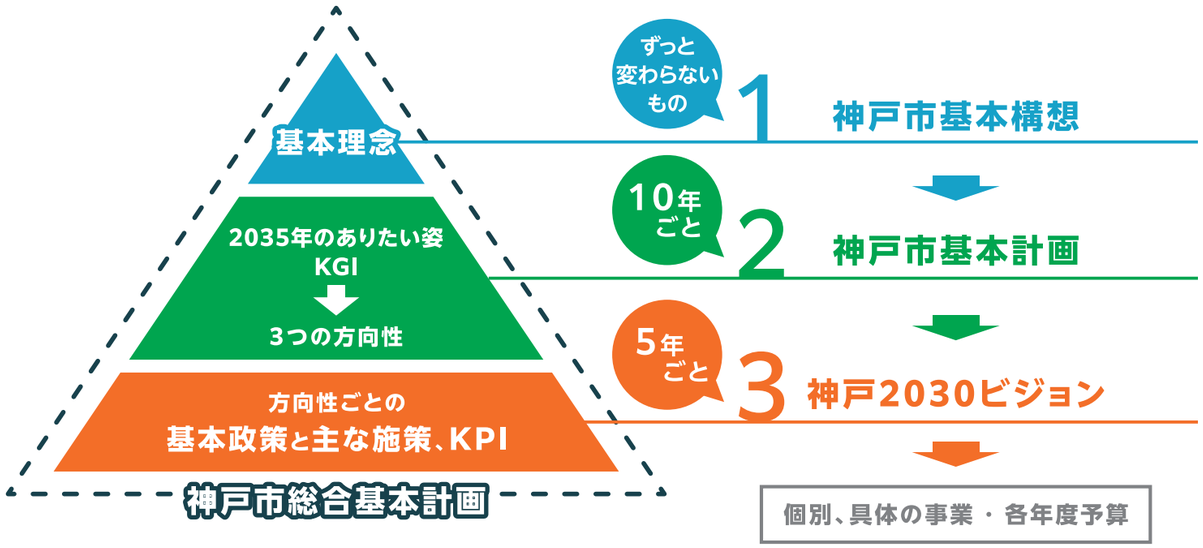
総合基本計画は、神戸が大切にしたい価値と目指す未来の姿を神戸に関わるみなさんとともに描き、実現していくための共通の指針です。
下図のように、「基本構想」「基本計画」「神戸2030ビジョン」の3つの計画で構成され、令和8年4月より施行されます。

100回を超えるワークショップの実施、WEBアンケート、GIGAスクール端末を通じた小中学生からの意見収集　etc.






新たな総合基本計画の策定にあたっては、
基本構想は6万人、基本計画は5万人を超える
神戸に関わるみなさんが、
神戸の未来への思いを届けてくれました。



未来の神戸をともに実現するために

神戸市では、ともに描いた「2035年の神戸」を実現していくため、企業研修や学校の探究学習、地域の勉強会など様々な機会で総合基本計画をご紹介するとともに、ワークショップなどを通じて**「自分たちにできること」を言葉にする“未来宣言”**や、**CSR活動として神戸に貢献する方法を考える機会**をご提供しています。
「まずは計画の内容を知りたい」という段階でもぜひご相談ください。
その一歩が、未来につながる力になります。このまちの未来を、ともに創っていきましょう。

【問い合わせ先 】神戸市企画調整局政策課
TEL:078-322-6951　E-mail:kobe-vision@city.kobe.lg.jp

KOBE

新たな総合基本計画

ともに描いた「2035年の神戸」へ

- いつまでも まちの誇りを育み、次代に紡ぐ -



1 神戸市基本構想

いつの時代も変わることのない神戸らしさとありたい姿

神戸は、海と山に囲まれた
美しいみなとまちです
開港以来、海外との交流を重ね
文化や流行を日本に生みだしてきました

神戸は、多彩な表情を見せるまちです
都会と里山の共存
洗練されたまち並みと下町の活気
まちに溶け込む坂道も
毎日違う風景を見せてくれます

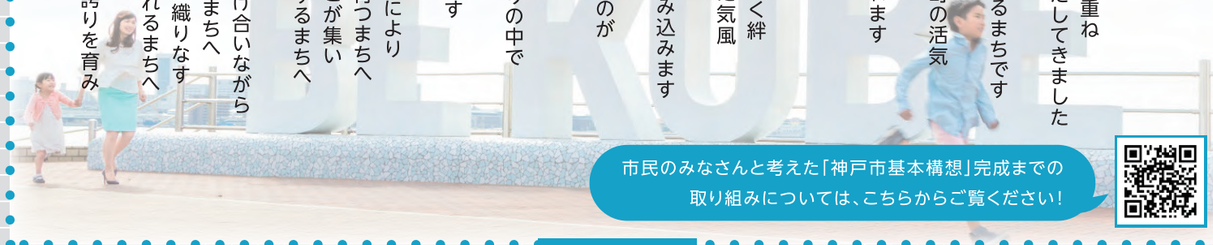
神戸は、人間らしい
あたたかみのあるまちです
ともに困難を乗り越えていく絆
多様性があふれる開かれた気風
いつでも神戸は
すべてのひとをやさしく包み込みます

これまで神戸には多くのものが
受け継がれてきました
これからも神戸は
世代や立場を超えた繋がりの中で
広く内外に貢献し
未来に向けて進んでいきます

培ってきた技術と知の集積により
時代を彩る産業とひとが育つまちへ
世界を臨む海や空からひとが集い
新たな価値の創造を実現するまちへ

誰もがひとに寄り添い、助け合いながら
それぞれの夢に挑戦できるまちへ
豊かな自然とひとの営みが織りなす
一人ひとりが幸せを感じられるまちへ

神戸は、いつまでもまちの誇りを育み
次代に紡いでいきます



市民のみなさんと考えた「神戸市基本構想」完成までの
取り組みについては、こちらからご覧ください！

2 第6次 神戸市基本計画 -2035年の神戸-

基本構想を踏まえた2035年のありたい姿

2035 年の神戸

神戸空港や神戸港は、世界とつながる玄関口。そこには、絶えず人やモノ、情報が集まり、多様な文化が行き交うことで、新たな風が吹く。

都心には、おしゃれで心地よい雰囲気と、温かなもてなしの心があふれる。周辺に広がる交通網によって、人と人の出会いと交流がうまれ、まちの魅力がさらに深まる。

くらし息づく街では、個性豊かな駅を中心に、それぞれの理想のライフスタイルが形となり、ゆとりある上質な時間が流れる。

山から望めば、先人から受け継いだ農村や里山、豊かな自然が悠然と広がり、夜には世界に誇れる美しい夜景が幻想的に彩る。海に向かえば、汽笛や潮風に迎えられ、ジャズを育んだ港町の歴史と文化芸術にふれながら、贅沢な時間に包まれる。食は、自然の恵みと人に育まれ、いつでも人々の心を満たす。

しごとや学びの場では、経験と新たな挑戦が融合し、未来を切り拓く力がみなぎる。

街のいたるところで、異なる世代や多様な人々が集い、支え合い、こどもたちの笑い声と皆の笑顔があふれ、まちのあたたかみが安らぎをもたらす。

人々の暮らしは、困難を乗り越え、築いてきた、たくましい礎によって守られ、それぞれの環境を思いやる行動が、次世代への安心を生み出す。

そして、まちの誇りは、神戸を愛する人々の心によって育まれ、力強く次代に紡がれていく。

ありたい姿を数値で示したKGI※1

経済指標

①実質GDP成長率
1%以上（年換算）の達成

②地域経済循環率※2
100%以上の維持

人口指標

③生活関連サービスを提供する市街地※3の比率を維持

④22～39歳の社会動態の転出超過を解消

幸福度指標

⑤Well-Being指標※4に基づく幸福度6.5以上、生活満足度7.0以上を確保

※1 KGI（Key Goal Indicator）：最終目標を示す重要な指標
※2 地域経済循環率＝市内総生産（GDP）/ 市民所得
※3 人口集中地区（DID）を準用
※4 出所：一般社団法人スマートシティ・インスティテュート「地域幸福度（Well-Being）指標」

「神戸市基本計画」策定の取り組みについては、こちらからご覧ください！

2035年の神戸を実現するための3つの方向性

今後10年間、全国の都市で人口減少がさらに加速していくことが見込まれます。この時代の流れを冷静に捉え、長期的な視点に立ち、未来を見据えた都市の持続可能性を最重視することを基本姿勢とします。そして、以下の3つの方向性で取り組みを進めることで、まちの誇りを育み、次代に引き継いでいきます。

方向性Ⅰ 世界と繋がる2つの港 「新たな時代の国際都市」へ

神戸は、古くから外国との交流によって、多様な文化や気風を取り入れながら、まちを発展させてきました。空港の国際化により、神戸は国内外とのつながりがより一層強化されます。多様な人材・技術・文化を取り入れ、神戸の強みと融合させることで、人・まち・しごとの魅力を高め、これからも「海と山に囲まれた美しいみなとまち」を守り育てながら、世界に開かれたまちとして、持続的な発展を目指します。

多様な文化や人との交流を促進し、グローバルに活躍する人材を育み、受け入れ、そして神戸への想いを胸に世界へ羽ばたいていく流れを加速させていきます。

また、海と山が織りなす美しい風景や豊かな自然・文化との調和などの魅力に加え、都心・ウォーターフロント再開発による相乗効果を活かしながら、国内外へ神戸の魅力発信を強化していきます。

さらに、国内外から集まる多様な人材や企業と、市内の大学や企業、行政等が組織を超えてつながり、イノベーションを創出することで、独立した経済圏を支えるものづくり、港湾、農水産、食、観光、医療・バイオ等の既存産業の発展、新たな成長産業の創出を加速させ、東京一極集中が進む中においても、関西圏ひいては日本全体の経済成長をリードしていきます。

こうした機能強化により、神戸の国際的な存在感を高め、新たな時代の国際都市として、市民の暮らしをより豊かにしていきます。

方向性Ⅱ 個性豊かで多様な地域の融合 「日常と非日常が交わり続ける都市」へ

神戸の地理的特性や歴史の中で形作られた個性豊かなまちなみや、豊かな自然は、神戸ならではの魅力です。今後、全国的に人口減少が進む中でも、先人たちがこれまでの歴史の中で築いてきた貴重な財産を最大限に活かし、磨いていくことで、将来世代が充実したライフスタイルを送ることができるよう、これからも「多彩な表情を見せるまち」を守り育てていきます。

都心部では、居住機能との調和を図りながら、商業施設や業務機能の集積を進めていきます。国内外から多くの人が訪れ、買い物やアート、食事など五感を刺激する体験ができる場を創出します。また、魅力的なビジネス環境の整備も進めていきます。

既成市街地やニュータウンでは、まちの顔である駅を中心に、生活利便施設のリニューアルや、職住近接の取り組みを進めます。さらに、商店街などに息づく下町文化を活かし、まちの魅力と暮らしの質を高めていきます。

また、海や山、農村・里山地域など、神戸が誇る豊かな自然を守りながら、市街地との交流を促進することで、自然と調和するまちの魅力を高めていきます。

そして、こうした多彩なまちなみをつなぐ公共交通網を維持・充実させ、それぞれの日常と非日常が交わる都市空間を実現することで、市民の満足度を高め、いつまでも住み続けたいと思えるまちへ、そして、国内外から愛され選ばれる都市を目指します。

※画像についてはイメージであり、今後の設計及び関係機関との協議により変更となる場合があります

方向性Ⅲ ともに乗り越え育んだ絆 「いつまでも幸せを感じ、分かち合える都市」へ

これまでの歴史によって培われた進取の気風や、ともに災害を乗り越えてきた絆は、神戸のまちと人に受け継がれてきました。今後、先行きが不透明な変化の激しい時代においても、誰もが寄り添って助け合い、そして、新たな挑戦を続けていくことで、いつまでも「人間らしいあたたかみのあるまち」を守り育てていきます。

神戸の未来を担う子どもたちをはじめ、性別、年齢、障がいの有無、民族、国籍に関わらず多様な主体や団体が、地域の中でつながり、支え合いながら、誰もが安心して、それぞれの夢に向かって自由に挑戦でき、主役になれるまちを目指していきます。

また、子育て・教育環境の充実、健康・福祉の増進や、安全で快適な住環境を支えることで、一人ひとりの笑顔を育み、誰もが安心して健やかで心穏やかに暮らせる環境をつくります。

さらに、新たなテクノロジーと先進技術を積極的に取り入れながら、地球環境への貢献や次代をリードする防災力を強化し、より豊かで質の高いくらしを実現させます。

そして、それらの取り組みを世界に発信することで、震災でいただいた多くの支援に、いつまでも感謝の気持ちを忘れることなく、国内外に貢献していくまちを目指します。

3 神戸2030ビジョン

基本計画の3つの方向性を、2030年までの基本政策と主な施策として体系的に整理

基本政策	主な施策
多様な交流を通じて世界で活躍する人材の育成を進める	神戸空港の国際化への対応 / 陸海空の広域交通結節機能の強化 / 神戸経済のグローバル化推進 / 革新的な起業·創業支援 / 文化芸術·スポーツの振興
新たな時代の国際都市にふさわしい都市の魅力をつくる	都心·三宮再整備 / ウォーターフロント地区の魅力向上 / 都心·ウォーターフロントの回遊性向上 / 観光誘客の推進 / 森林·里山の再生 / 六甲山·摩耶山等の活性化 / 文化芸術·スポーツの振興
圏域経済を牽引する大都市として、神戸経済のさらなる成長と国際競争力を高める	神戸経済のグローバル化推進 / 国際コンテナ戦略港湾政策の推進 / 市内産業の活性化 / 企業誘致の推進 / 就業人口の拡大 / 農水産業の活性化 / 多様な食文化の発信と地場産業の振興 / 革新的な起業·創業支援 / 大学·企業等との共創によるまちづくり / 神戸医療産業都市の推進 / 観光誘客の推進 / 多様な大都市制度の実現·自治体間連携の推進

基本政策	主な施策
五感を刺激する体験と魅力的なビジネス環境を創出する都心をつくる	都心·三宮再整備 / ウォーターフロント地区の魅力向上 / ポートアイランド·六甲アイランド·HAT神戸の活性化 / 文化芸術·スポーツの振興 / 多様な食文化の発信と地場産業の振興
ゆとりある上質な暮らしが生まれる既成市街地·ニュータウンの再生を推進する	駅周辺のリノベーション / オールドタウン対策 / 空き家空き地対策の推進 / 商店街·小売市場の活性化
海と山を感じる豊かな自然を次代につなぐ	森林·里山の再生 / 農村地域等の賑わい創出 / 農水産業の活性化 / 六甲山·摩耶山等の活性化
個性豊かなまちなみをつなぎ日常と非日常が交わる都市をつくる	公共交通の維持確保 / 既存ストックの有効活用 / 多彩なライフスタイルを実現する住宅供給·流通促進 / 自転車利用環境の整備 / まちの緑·公園·街路樹の有効活用 / 観光誘客の推進

基本政策	主な施策
多様な主体や団体の協働や支え合いにより、誰もが安心して夢に向かって挑戦できる社会をつくる	地域活動の支援 / 大学·企業等との共創によるまちづくり / 外国人との共生 / いきいきと活躍できる場の創出 / 文化芸術·スポーツの振興
子育てと仕事の両立を支え、こどもたちの健やかな成長と豊かな感性を育む	子育て世帯の経済的負担の軽減 / 子育て環境の充実 / 女性活躍の推進 / 教育 · 保育環境の充実、保育人材の確保 / 教育環境の充実 / 体験機会の充実 / こどもの外遊びの推進 / コベカツの推進
きめ細かい多様な支援により誰もが安心して健やかに暮らせる環境をつくる	健康づくりの推進·医療の充実 / 高齢者施策の充実 / 障害者施策の充実 / 不登校児童生徒に対する支援 / 児童虐待防止対策の強化 / 孤独·孤立対策 / 生活困窮者等に対する支援 / 地域活動の支援
ともに困難を乗り越えてきた絆と経験を活かし、あらゆる危機から市民の安全·安心を守る	災害対応力の向上 / 救急医療 · 消防体制の強化 / くらしの安全 · 安心を守る / 高温常態化対策 / 物価高騰に対する生活支援 / 安全で快適な住環境を支える / 森林 · 里山の再生
既存資源を活かしながら新たな価値創出と循環型社会に貢献する	持続可能な資源循環の促進 / 再生可能エネルギーの拡大 / 水素スマートシティ神戸構想の推進 / 森林·里山の再生
デジタル技術の活用と行政機能の強化により、便利でわかりやすい市民サービスを提供する	デジタル化による市民サービスの利便性向上 / 行政施設の機能強化
国内外に貢献する持続可能な大都市をつくる	多様な大都市制度の実現·自治体間連携の推進 / 行政基盤を支える働き方改革の推進 / EBPMの推進

KGIの達成に向けた進捗状況を定量的に評価する指標（KPI:Key Performance Indicator）

KPI	基準値	目標値（2030年）
方向性Ⅰ　世界と繋がる2つの港　「新たな時代の国際都市」へ		
神戸空港利用者数	361万人 / 年	700万人 / 年
コンテナ取扱貨物量	277万TEU / 年	300万TEU / 年
労働生産性 （市内就業者1人あたり市内総生産）	970万円 / 人	年率1%増加
大学発スタートアップ創出数	36件	120件
海外展開に取り組む企業の割合	10%	15%
都心·三宮の滞在人口	6,300万人 / 年	7,200万人 / 年
市内延べ宿泊者数	710万人 / 年	830万人 / 年
大学·高専の新卒者の市内就職率	15%	18%
方向性Ⅱ　個性豊かで多様な地域の融合　「日常と非日常が交わり続ける都市」へ		
都心·三宮の滞在人口	6,300万人 / 年	7,200万人 / 年
駅勢圏が生活関連サービスを提供する市街地にかかる市内鉄道駅の1日当たり乗降客数	128万人 / 日	基準値を維持
公共交通分担率	33.1%	35%以上
商店街·小売市場エリアのにぎわい	3,300万人 / 年	基準値を維持
里山林管理による森林資源の循環量	100㎥ / 年	300㎥ / 年
農村地域での農業参入·起業·移住数	120件 / 年	基準値以上
方向性Ⅲ　ともに乗り越え育んだ絆　「いつまでも幸せを感じ、分かち合える都市」へ		
地域活動の活性度	3,000件 / 年	5,000件 / 年
子育て関連事業の利用者満足度	90%	基準値以上
課題の解決に向けて、自分で考え自分から取り組んだ児童生徒の割合	小6　78.0%　（▲2.3%） 中3　72.5%　（▲5.2%） ※括弧内は全国平均との差	全国平均以上
運動やスポーツをすることが好きな児童生徒の割合	小5男　93.2%　（▲0.2%） 小5女　85.3%　（▲0.5%） 中2男　90.1%　（▲0.8%） 中2女　76.4%　（▲0.8%） ※括弧内は全国平均との差	全国平均以上
市域における再生可能エネルギー導入量	357MW / 年	500MW / 年
公共インフラ（橋梁·上下水道）の耐震化率	74.3%	93.8%
新たな市政課題に対応するために創出した時間数	—	50万時間 / 年
Well-Being指標に関するKPI		
Well-Being指標の客観指標	全指標の平均値 52.6	基準値以上

参考資料３

デジタル田園都市国家構想交付金・新しい地方経済・生活環境創生交付金　令和7年度実績シート

○ デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ、地方創生拠点整備タイプ）

1　こうべ女性就業・活躍促進プロジェクト
【事業の概要】 女性の再就職・キャリアアップ支援と支援モデルを構築し、女性リーダーの育成・ネットワークづくり支援を実施していく。さらに、市内中小企業に対し、女性活躍や多様な働き方の促進を支援するため、セミナー等を開催するほか、女性活躍やワーク・ライフ・バランスに取り組む企業の認定制度を創設し、市内企業に向けて女性活躍の取組みの紹介・発信を行う。また、理工系進学を目指す女子学生を対象に、市内企業等と連携したラボ見学等を実施する。 あわせて、起業家を志す女性に向けた実践型伴走支援プログラムを実施することで、女性が働く希望を叶え、ライフイベントに左右されず、多様な働き方を選択しながらキャリアを築き、活躍できるまちの実現を目指す。

【KPIの達成状況】 ()内は目標値	単位	令和７年度増加分	累計増加分
①事業実施により再就職又は非正規から正規雇用労働に転換した女性の数	人	14（50）	39（245）
②女性リーダー育成プログラムを受講した女性の数	人	255（50）	632（180）
③事業実施により女性活躍・多様な働き方への新たな取り組みを行った企業の数	社	31（100）	184（650）
④女性起業家育成プログラムを受講した女性の数	人	15（20）	165（80）

2　ＳＤＧsを原動力とした産業基盤強化プロジェクト
【事業の概要】（兵庫県との共同事業） SDGｓの達成に向けて取り組む県内中小企業の推進宣言を登録し、広く情報発信をすること等により、SDGｓに関する具体的な取り組みの裾野を広げる。また、地場産業のブランド力強化や海外展開にあたっての商品開発等を支援し、地域における持続可能な事業創造を推進する。あわせて、先端技術に係る高度人材を確保し、デジタル技術を活用して効率的にSDGｓの実現を図るため、育成プログラムの開発等を行うことで、イノベーションの核となる先端技術人材の県内集積の促進、産業の強化を図る。

【KPIの達成状況】 ()内は目標値	単位	令和７年度増加分	累計増加分
①SDGｓの取組が順調に進んでいる県内企業の割合	%	1（5）	14.9（23.4）
②ひょうごSDGs推進宣言を行った産地数	産地	0（6）	18（18）
③DX導入支援により実装に結びついた件数	件	22（1）	49（2）
④県内に本社を置く企業の海外進出数	社	集計中（0）	集計中（2）

○ 令和７年度　新しい地方経済・生活環境創生交付金（第２世代交付金）

1　イノベーション創出による地域経済活性化支援事業

【事業の概要】
神戸経済の持続的な成長に繋ぐため、イノベーション創出にかかる人材育成支援事業や、開発・実証に対する支援を行う。また、神戸市がイノベーション創出の場となるための仕組み構築のため、各支援機関との連携を進める。

【KPIの達成状況】 ()内は目標値	単位	令和７年度増加分	累計増加分
①新たな商品等の開発件数（プロトタイプ含む）	件	0（0）	0（0）
②開発・実証実験件数	件	6（15）	6（15）
③共創マッチング件数	件	7（10）	7（10）
④セミナー、イベントの参加人数	人	1,075（600）	1,075（600）
⑤起業数（スタートアップ設立数）	社	31（16）	31（16）

2　神戸高専地域共創テクノセンター整備事業

【事業の概要】
神戸市立工業高等専門学校内に以下の主要3事業を展開するための拠点施設を整備する。（令和８年度末完成予定）
①企業への技術支援
・研究シーズと企業ニーズのマッチング、技術相談や共同研究等の窓口業務、リスキリング・講習会等の実施 等
②交流機会の提供
・学生向け企業説明会の実施、学生への企業情報提供、企業と連携した小中学生への理科教育 等
③イノベーションの創出
・企業との共同教育、スタートアップ支援 等

【KPIの達成状況】 ()内は目標値	単位	令和７年度増加分	累計増加分
①地域における新規雇用者数（起業者数を含む）	人	※令和７年度は工事整備中のため、項目のみ記載。	
②神戸高専卒業生の市内就職人数（第2新卒を含む）	人		
③地元企業との共同研究および技術相談件数	件		
④TECH共創会の会員企業数	社		
⑤企業参加行事の年間開催日数	日		

3　神戸市立青少年科学館大規模リニューアル

【事業の概要】
青少年科学館において、既存の展示室のうち２室のリニューアルを実施する。1室は市内企業の技術を紹介する展示を企業の負担で作成して展示する。もう1室には複数の実験室と工作室を設置し、企業技術の展示室と連動する形でイベントやワークショップを開催するなどして、賑わいの創出と理科人材の育成を図る。

【KPIの達成状況】 ()内は目標値	単位	令和７年度増加分	累計増加分
①観光動向調査で「ポートアイランド周辺」を立ち寄り先と回答した観光客の割合	%	※令和７年度は工事整備中のため、項目のみ記載。	
②教育普及活動参加者数	人		
③施設来館者数	人		
④来館者満足度	%		

4　神戸市ものづくり工場機能拡充事業（企業交流スペース・スタートアップ入居スペースの整備）

【事業の概要】
本事業の対象施設である「神戸市ものづくり工場」は、阪神・淡路大震災で被災した製造業の復興を目的に平成10年に建設された日本最大級の賃貸工場であり、現在では被災企業に限らず、様々な業種の企業約100社が入居している。同工場に、「企業交流スペース」「スタートアップ入居スペース」「商談スペース」を整備することで、スタートアップを含む市内外の企業との連携する場を提供し、新たなイノベーション創出に繋げる。

【KPIの達成状況】 ()内は目標値	単位	令和７年度増加分	累計増加分
①地域における新規雇用者数	人	42（0）	42（0）
②神戸市ものづくり工場への新規入居者数	社	4（0）	4（0）
③神戸市ものづくり工場への新規スタートアップ入居者数	社	2（0）	2（0）
④企業交流イベント開催数	件	2（0）	2（0）

5　神戸総合運動公園野球場リニューアル整備事業

【事業の概要】
大型映像装置の制御システムを更新するとともに、大・小2画面を1画面に統一して大画面表示が可能なスクリーンへ更新し、観客にとって見やすく臨場感のある映像を見ることができるようにする。

【KPIの達成状況】 ()内は目標値	単位	令和７年度増加分	累計増加分
①プロ野球の開催による経済効果	百万円	※令和７年度は工事整備中のため、項目のみ記載。	
②野球場利用者人数	人		
③関西広域及び県大会規模の大会やプロスポーツ試合の誘致件数	件		

6　王子公園エリア創生事業

【事業の概要】
動物園のエントランス空間および一体となった王子公園のエントランス空間～滞留・交流空間の創出を行う。また、これらの公園整備に伴い必要となるインフラ整備や園地園路整備を実施する。

【KPIの達成状況】 ()内は目標値	単位	令和７年度増加分	累計増加分
①若年層人口	人	※令和７年度は工事整備中のため、項目のみ記載。	
②公園利用者人数	千人/年		
③王子公園駅乗降客数	人/日		

7　六甲アイランド地区拠点公園整備事業

【事業の概要】
・休憩施設の改修を行うことで、安全で魅力ある公園整備
・雨天時や酷暑時の避難に使用できる休憩施設の改修や、健康遊具の再編により、利用者が安全・快適に健康づくりに取組める公園整備
・地域のニーズに応じたバスケットコートの整備
・都市公園と港湾緑地との一体的な施設整備

【KPIの達成状況】 ()内は目標値	単位	令和７年度増加分	累計増加分
①地域人口減少数の緩和	件	※令和７年度は工事整備中のため、項目のみ記載。	
②公園利用者数（年間）	件		
③行為許可数	件		

8　森林資源の循環的利用を目指したKOBE備長炭事業

【事業の概要】
市内に高品質の備長炭を製炭できる炭窯を整備し、放置林や公園などの森林整備で得られたカシ類などの木材から「KOBE備長炭」を製炭し、地元飲食店などに販売する。炭窯整備前はOEM製造のKOBE備長炭を用いて、認知度向上を目的にイベントなどプロモーション活動を行う。炭窯整備後は施設見学の受け入れなどを通じて、KOBE備長炭のPRや市民向け環境教育を実施する。

【KPIの達成状況】 ()内は目標値	単位	令和７年度増加分	累計増加分
①炭の売上額	千円	0（0）	0（0）
②炭の利用店舗数（のべ数）	件	0（0）	0（0）
③製炭量	t	0.5（1.5）	0.5（1.5）
④イベント等の参加人数	人	0（0）	0（0）
⑤企業・個人からの寄付金額	千円	0（5,000）	0（5,000）
⑥森林等の整備面積	ha	0.36（1.16）	0.36（1.16）

9　神戸を起点とする瀬戸内クルージングネットワーク・プロジェクト
【事業の概要】 高付加価値旅行者や来街者などへのエリアプロモーション実施に向け、周辺公共空間に観光拠点施設や緑地を整備。高質な基盤空間を創出する。

【KPIの達成状況】 ()内は目標値	単位	令和７年度増加分	累計増加分
①観光入込客数（神戸港）：＋1,490千人（＋500千人）	千人	1,490（500）	1,490（500）
②観光消費額：＋291億円（＋9.33億円）	億円	291（9.33）	291（9.33）
③大型艇の寄港数：＋5隻（＋3隻）	隻	5（3）	5（3）
④イベント参加人数：＋130,361人（＋500人）	人	130,361（500）	130,361（500）

10　きらら広場の再整備事業
【事業の概要】 きらら広場は神戸元町商店街の西側の玄関口にあたる道路空間で、神戸駅から三宮・元町地区及びハーバーランド地区の結節拠点である。神戸駅では現在、神戸駅前広場再整備が進められており、きらら広場は回遊拠点としての機能が期待されるが、平成5年に完成してから30年以上が経過しており、単なる通行動線としての最低限の機能を果たすにとどまっている。異常高温対策を取り入れ誰もが気軽に憩い、くつろげる滞留空間とし、イベント広場としても活用できる広場とするため、再整備を行う。

【KPIの達成状況】 ()内は目標値	単位	令和７年度増加分	累計増加分
①若年層人口（中央区の若年層（15～34歳）人口）	人	※令和７年度は工事整備中のため、項目のみ記載。	
②阪神電鉄西元町駅の乗降者数	人/日		
③神戸元町商店街の西側地区の通行人数	人/日		
④夏季におけるきらら広場利用者数（７～９月）	人/日		
⑤きらら広場におけるイベントの実施回数	回/年		
⑥コベリンの利用者数	人/月		

（参考）令和8年度　地域未来交付金（地域未来推進型） 新規事業
※交付決定がされているもののみ記載。（令和8年7月募集の交付決定は11月を予定）

1　稼ぐ力アップによる地域経済活力創出プロジェクト
【事業の概要】 スタートアップの支援や兵庫に集積する多様な産業の競争力を高める取り組みや、観光でインバウンド誘客の強化を行う。

【KPI】	単位	令和７年度増加分	累計増加分
①製造品付加価値額	億円	※初年度のため、項目のみ記載。	
②スタートアップ創出数	件		
③地場産業(主要産地)の生産額	億円		
④SDGｓに積極的な県内企業の割合	%		
⑤外国人延べ宿泊者数	万人		
⑥住んでいる地域に優れた製品・技術・ブランド力をもった企業があることを知っている人の割	%		

2　課題解決人材育成を通じた経済的・社会的インパクト創出支援事業
【事業の概要】 未来を担う人材育成を起点に、次世代産業の創出と社会課題解決の両面でイノベーションを生み出すため、教育課程から起業までを一気通貫で支援し、グローバル志向を持ち、課題解決能力に長けた人材を育成するとともに、そうした人材に対し、AI技術を活用した新規事業創出や社会課題解決を目指すビジネスの創出・拡大に向けた伴走型支援を実施する。

【KPI】	単位	令和７年度増加分	累計増加分
①労働生産性（市内就業者１人あたり市内総生産）	%	※初年度のため、項目のみ記載。	
②課題解決能力を育成するプログラム受講者数	人		
③AIスタートアップ等の育成数	者		
④インパクトスタートアップ・ローカルゼブラ企業の育成	者		

3　道の駅を中心とした神戸市北区淡河町における拠点づくり事業
【事業の概要】 国道428号線および県道38号線の交差点に位置する道の駅淡河の駐車場を拡張し、周辺施設への回遊や地域イベント時の拠点として機能させる。また、道の駅に隣接する準用河川浦川において、地域木材等を活用した多自然川づり・親水空間の整備を行う。さらに道の駅淡河から地域の歴史資源である淡河城址への動線を強化するとともにAR技術を活用し魅力向上を図る。以上の面的な整備により、農林水産業および観光業の支援に繋げる。

【KPI】	単位	令和７年度増加分	累計増加分
①地域の観光消費額	億円	※初年度のため、項目のみ記載。	
②周辺施設への来客者数増加率	倍		
③道の駅来場者数	万人		
④イベント・自然学習・山城見学会開催回数	回		

4　新長田駅前広場再整備及び新長田南エリアの魅力発信
【事業の概要】 駅前広場の再整備では、見違えるような緑あふれる憩いの空間に設え、地域産業を発信できるスペースを設けることで、「まちの顔」としての魅力向上、滞留空間の創出、にぎわいの創出を図る。また、再整備に向けた機運醸成、広場の利活用の促進を行うことで、再整備の効果をより発現させるとともに、地元事業者等の販路開拓につなげる。併せて、地元事業者の取組みや新長田エリアの魅力発信を積極的に行うことで、経済活動の活性化や空き家活用を後押しし、新たな交流を創出する。

【KPI】	単位	令和７年度増加分	累計増加分
①若年層人口（長田区の若年層（15～34歳）人口）	人	※初年度のため、項目のみ記載。	
②空き地・空き家の活用件数	件		
③新長田駅周辺の滞在者数	人/日		
④新長田駅周辺の公示地価	千円/㎡		
⑤商店街エリアのにぎわい	人/日		

5　三宮駅周辺エリア整備事業
【事業の概要】 三宮駅前に、情報発信機能と回遊を促すコミュニケーション機能を伴った、飲食等店舗機能（KIOSK）を設置する。また、三宮駅周辺とウォーターフロントの結節点のエリアにおいて再整備が進む市役所本庁舎２号館に、まちへの回遊への起点・情報発信の場、市民・企業活動など様々な活用方法に対応できるにぎわい空間を整備するとともに、周辺エリアにおける歩行者空間を高質化する。これらにより、都心における回遊性や滞在性の向上を図るとともに、また、神戸の地場産品などとも連携したにぎわいづくりや情報発信を行うことで、来街者の増加や地域消費の拡大につなげ、観光消費増や雇用創出による付加価値を向上させ、地域経済を活性化していく。

【KPI】	単位	令和７年度増加分	累計増加分
①三宮エリアにおける従業者数の増	人	※初年度のため、項目のみ記載。	
②三宮エリアにおける各鉄道駅の乗降者数の増	人/日		
③三宮エリアにおける滞在人口の増加率	%		
④三宮エリアにおける観光消費の増加に伴う付加価値の増	億円		

6　世界に誇る食のエリア形成プロジェクト～「神戸」×「世界一の食の島」をめざす淡路島～
【事業の概要】 地域産業クラスター形成に向けた観光産業の付加価値向上に向けて、以下の事業を行う。 ①食のエリアとしてのブランド価値の向上、②食を目的とした旅行者の増加、③食のエリアとしての受入基盤の整備、④食を支える人材の育成

【KPI】	単位	令和７年度増加分	累計増加分
①外国人宿泊者数（神戸・淡路地域）	万人	※初年度のため、項目のみ記載。	
②観光消費額（神戸・淡路地域）	億円		
③観光GDP（神戸・淡路地域）	億円		
④地域産業クラスターとして民間企業や大学等の参画による食をフックとした取組の件数	件		
⑤広域連携による「食」にまつわる観光コンテンツの新規造成数	件		

企業版ふるさと納税　実績シート（令和７年度）

●令和７年度寄附実績：101件／1,138,383,498円

●寄附事業の詳細

事業1	持続可能な里山再生事業
事業概要	神戸の里山地域では、高齢化の進行や生活様式の変化等により、耕作放棄された農地の増加や里山林の荒廃が進行し、災害の発生や、有害鳥獣被害など様々な問題を引き起こしている。「災害防止」や「生物多様性保全」など多面的機能を有する里山を、健全な状態で引き継いでいくためには、多様な主体が多様な形で、里山に関わることが必要である。本事業は、里山と都市を繋ぎ、担い手となる人材の育成や多様なプレーヤーの参画を促進するための拠点を立ち上げ、持続可能な「未来の里山」の実現に繋げることを目的としている。
寄附実績	1,760,000円（物納寄附：竹短繊維入り土系舗装材「かぐやロード」）

事業2	震災30年関連事業（「ヴィッセル神戸30周年記念チャリティーマッチ事業」）
事業概要	震災30年関連事業として、「ヴィッセル神戸30周年記念チャリティーマッチ事業」を実施。 ・主催者：ヴィッセル神戸・チャリティーマッチ実行委員会 （構成：一般社団法人兵庫県サッカー協会、一般社団法人ヴィッセル神戸スポーツクラブ、神戸商工会議所、神戸市） ①ヴィッセル神戸30 周年記念チャリティーマッチ「FRIENDLY MATCH」 ・対戦カード：ヴィッセル神戸 vs. FC バルセロナ（1-3でFCバルセロナの勝利） ・開催日時：2025年7月27日（日曜）19:00キックオフ ・開催場所：ノエビアスタジアム神戸 ・当日来場者数：27,412人 ・その他：バルセロナ市長よりコメントあり ②ヴィッセル神戸30 周年記念チャリティーマッチ「LEGENDS MATCH」 ・対戦カード：KOBE DREAMS vs. WORLD DREAMS（4-3でKOBE DREAMSの勝利） ・開催日時：2025年8月2日（土曜）19:30キックオフ ・開催場所：ノエビアスタジアム神戸 ・当日来場者数：18,515人
寄附実績	621,500,000円

事業3	神戸電鉄を未来につなごう！プロジェクト
事業概要	個人・企業からの寄附金を活用し、駅前の空き店舗などを賑わい施設や地域交流施設等に改修する民間事業者を支援する。 この事業を通じて、神戸電鉄沿線の地域活性化を促し、持続可能なまちづくりをめざす。
寄附実績	2,400,000円

事業4	神戸市立王子動物園の取り組み
事業概要	「まもる」「まなぶ」「ふかめる」「たのしむ」「はぐくむ」を5つの柱として、種の保存や調査研究、野生生物の生態・環境保全に関する教育活動に取り組んでいる。動物福祉の向上を図り、野生動物の保護や生息環境の保全を目指すとともに、来園者が一日中、ゆっくりと動物を観察し、遊び、憩うことのできる動物園を目指す。
寄附実績	1,500,000円

事業5	こうべ再生リンでつなぐ資源循環
事業概要	神戸市では、下水からリンを回収し、肥料原料として有効利用する資源循環「こうべ再生リン」を推進している。 これまでは東灘処理場において、リン回収設備1基での供給を行っていたが、令和8年度からは玉津処理場においてもリン回収を行っており、リン回収設備2基で最大200ｔ/年の供給能力となっている。 こうべ再生リンの取組をより一層推進していくため、令和７年度から東灘処理場において新たなリン回収設備（市内３基目）の設置工事を進めており、完成後の令和9年度には、市全体でこうべ再生リンの供給能力は300ｔ/年となる。
寄附実績	2,000,000円

事業6	神戸登山プロジェクト
事業概要	登山道の整備、案内板の更新、倒木の除去、ベンチの更新、展望台の修理、老朽家屋・看板の撤去
寄附実績	4,100,000円

事業7	有馬地域における児童預かり事業
事業概要	有馬地域は観光地として賑わう一方、観光産業の担い手不足や子育て世代の流出が進み、特に土日祝日や長期休暇中の子どもの居場所づくりが課題となっている。こうした状況を踏まえ、子育て世帯に選ばれる地域づくりと、観光業で働く保護者が安心して就労できる環境整備を目的に、旧有馬幼稚園舎を活用した児童預かり事業を実施する。本事業では、旧幼稚園舎の改修を行い、児童が安全かつ快適に過ごせる環境整備を図ることで、地域の子育て支援体制の強化及び施設の魅力向上に寄与することを目的とする。
寄附実績	75,000,000円

事業8	神戸市震災30年事業
事業概要	災害や感染症などを踏まえた社会システムの構築に資する事業
寄附実績	310,000円

事業9	コベカツ（中学校部活動の地域展開）の取り組み
事業概要	本事業は、令和8年度に公立中学校部活動を終了し、地域のスポーツ・文化活動等の新しい受け皿となる「神戸の地域クラブ活動」＝「KOBE◆KATSU（コベカツ）」の開始に向けた取り組みで、中学生が校区を越えて放課後や休日に「やりたいこと」を主体的に選択して参加できる画期的な仕組みづくりを構築する取り組み。 また、令和7年度にコベカツクラブの安定的な実施及び活動環境の継続的な整備を図るため、「コベカツ支援基金」を設置した。本基金は、中学校における安全・安心な活動環境を確保するためのセキュリティ対策、並びにコベカツクラブの運営に不可欠な運動器具、照明設備、吹奏楽用楽器等の更新・整備など、活動環境の維持・向上に資する事業に対し、必要に応じて柔軟に対応することを目的としている。 これらの事業は単年度での対応が困難であり、複数年にわたり計画的に実施していく必要があることから、本基金を活用し、将来にわたって安定的に財源を確保するものである。各学校及び地域クラブの実情に応じた環境整備事業に本基金を充当する予定である。 なお、令和7年度においては、上記目的に基づく将来の事業実施に備え、基金への積立てを行った。
寄附実績	2,000,000円

事業10	子どもたちの"やりたい"学びを叶えるプロジェクト
事業概要	急速に変化・多様化するこれからの社会を生きる子どもたちが、自ら問題発見・課題解決能力などを身につけることができるよう、企業・大学・NPOなどとの連携による通常の授業では得られない特別な体験を通じて、社会とつながる学びや、多様な学びを実現する「子どもが主役のこれからの学び」を充実させる。
寄附実績	100,000円

事業11	魅力的な仕事の創出と産学連携による経済成長に資する事業
事業概要	神戸市では、持続的な経済成長の実現に向け、成長著しい東南アジアやインドとの関係強化及びスタートアップの活力取り込みを目的として、2025年度にシンガポールビジネスオフィスを開設した。本事業は、シンガポールオフィスの開設を契機に実施するものであり、当該地域の経済情勢や企業動向等の情報提供、新たな海外拠点機能の検討支援、関係機関の紹介の他、世界のスタートアップ支援動向を踏まえた施策検討や、域内企業の活性化に向けたアドバイス等を実施する。
寄附実績	3,000,000円

事業12	ドローンを活用した公共施設点検の効率化と災害時対応への利用拡大
事業概要	社会インフラの点検、空撮、測量等、日常の維持管理業務でドローンを積極的に活用するとともに、災害が発生した際、現場調査での活用できる体制を構築する。
寄附実績	9,350,000円（物納寄附：リアルタイム3Dレポート作成ドローン）

事業13	こうべ木陰プロジェクト
事業概要	都市の高温常態化対策として、木陰を増やし・育て・つなげることで、快適で持続可能なまちをつくる取り組み
寄附実績	1,000,000円

事業14	ノエビアスタジアム神戸および御崎公園のアップグレード
事業概要	御崎公園内にあるノエビアスタジアム神戸は、様々な競技やイベントなどが行われるスタジアムであるとともに、Jリーグヴィッセル神戸などのプロチームのホームスタジアムでもあり、神戸市内外から年間40万人超の観客が訪れる集客力の高い施設である。 御崎公園及び当スタジアムは、再整備から20年を超え、トイレや遊具など、必ずしも現在の利用者ニーズに応えられていない設備や施設があるとともに、電力使用量が市内の公園で最も大きいため、省電力化や再生可能エネルギーの活用といったSDGsの取り組みを強力に進める必要がある。 そこで、ふるさと納税を活用し、観戦環境の向上や遊具エリアの魅力化及び、省エネルギー化の取り組みを行い、利用満足度の向上や環境改善につながる改修を実施することを目的とする。
寄附実績	4,400,000円

事業15	バスケットゴール倍増プラン
事業概要	「神戸ストークス」の本拠地移転にあわせ、バスケットボールへの関心を高め、競技人口を広げることを目的に、バスケットゴールがある公園を2026年度までに50カ所から100カ所へ倍増する。
寄附実績	1,000,000円

事業16	マウンテンバイクによる六甲山の活性化
事業概要	森林植物園の「学習の森」に自然の起伏を活かしたトレイルコースを整備
寄附実績	5,500,000円

事業17	伐採樹木を活用したこども遊具製作プロジェクト
事業概要	新たな産業団地を造成するにあたり発生する伐採木を活用し、大型遊具や小型玩具を製作して市内のこども施設に提供する。
寄附実績	7,300,000円

事業18	ブルーカーボンの活用
事業概要	ブルーカーボンは地球温暖化の新しい選択肢と注目されているだけでなく、生態系の維持や回復といった生物多様性の豊かさに貢献するものとして期待されていることから、本市ではブルーカーボンの取り組みを推進している。具体的には、兵庫運河や須磨海岸、塩屋海岸において漁業者や市民団体、企業、学校など様々な団体がアマモの植栽などのブルーカーボンの取組を推進しているほか、神戸空港では、港湾局において、太陽光が届く緩やかな傾斜護岸を広範囲に構築したことにより、藻場が広く繁茂し、豊かな生態系を創出している。なお、このうち兵庫運河、須磨海岸、神戸空港では、藻場の保全活動等を支える新たな資金メカニズムであるJブルークレジット制度を活用し、創出した藻場による二酸化炭素吸収量をクレジット化して民間企業等に購入されている。また、世界初の淡水域での水草等による二酸化炭素吸収・貯留の評価を神戸大学等と協力して進めており、この淡水カーボンの研究機関に対する支援や、烏原貯水池と総合運動公園の奥池で、水草（ササバモ）の移植実証を実施した。
寄附実績	1,200,000円

事業19	防災ジュニアチーム支援プロジェクト
事業概要	神戸市では市内の中学生が防災教育や訓練を実施する防災ジュニアチームがあります。阪神・淡路大震災の教訓を次世代に伝承するため、平成8年に最初に防災ジュニアチームができ、現在「29チーム（1,429人）」が活動しています(2025年7月現在）。 活動を通して防災を学び、体験することで、子どもたちは若いうちから防災に関する正しい知識や技術に触れることができ、将来の防災の担い手育成につながります。 本事業は、防災ジュニアチームの活動支援を実施します。
寄附実績	700,000円

事業20	災害へそなえる！「こうべのチカラ」レベルアッププロジェクト
事業概要	神戸市民防災総合センターでは、地震体験車・風水害シミュレーション・放水体験など、実際の災害を疑似体験できる多彩なプログラムで防災体験学習を行っています。 阪神淡路大震災から30年が経過した神戸市では、さらにリアルな体験学習を実施してもらうため、施設及び設備を充実させる。
寄附実績	10,000,000円

事業21	高度デジタル人材・次世代産業創造人材育成事業
事業概要	①Microsoft AI Co-Innovation Lab学生×企業共同開発プログラム デジタル技術を活用した課題解決を目指す企業と、企業での実践機会を求める学生との共同研究プログラムにより、市内企業のAI技術活用を促進するとともに、学生の技術習得とスキル向上を図るプログラム。 ②最先端ディープテック集積地派遣プログラム 学生をAI、バイオ、ヘルステック、宇宙・航空技術、量子コンピューティングなど最先端ディープテックの集積地であるシリコンバレーに派遣、大手テック企業、大学、研究機関での研修を実施。
寄附実績	18,500,000円

事業22	SDGs課題解決に向けた事業開発支援
事業概要	世界のSDGs課題解決に挑む起業家及びスタートアップ企業の事業開発及び海外展開支援 ・メンタリング、海外展開支援、ビジネスマッチング支援 ・海外進出における実証調査事業の経費支援 ・デモデイ（ピッチイベント、ビジネスマッチング）の開催
寄附実績	100,000円

事業23	グローバル人材の育成
事業概要	日本全体で若年層人口の減少や若者のグローバル志向の低下が懸念される中、我が国の国際競争力を維持・向上させていくためには、社会課題を自ら発見し、解決に向けて主体的に行動できる人材の育成が重要である。 神戸市では、地域経済の持続的な発展と将来の産業創造を担う人材の輩出に向け、中学生・高校生・大学生を対象に、主体性、積極性、グローバル志向及び課題解決能力を育成するためのプログラムを実施する。 本事業では、学びの段階から実践の場までを一体的につなぐことにより、若者が社会課題や地域課題に向き合い、起業やグローバルな舞台での活躍を視野に入れながら成長できる仕組みの構築を図る。 これにより、課題解決人材及び次世代産業創造人材の育成に向けた神戸発のロールモデルを確立し、神戸から国内外で活躍する人材を継続的に輩出することを目指す。
寄附実績	10,000,000円

事業24	スタートアップ支援・イノベーション創出に向けた取り組み
事業概要	神戸経済全体の持続的な成長のために、海外、他都市における市場開拓、雇用機会の創出を目的として、スタートアップや市内企業の新規事業開発を支援する。 地域課題解決のための神戸市等のアセット、リソースを活用した実証支援、神戸市におけるオープンイノベーションの活性化により、地域一体で神戸市を「イノベーション創出の場」にすることを目指す。
寄附実績	300,000,000円

事業25	分野特化型インキュベーション事業
事業概要	神戸市内でのスタートアップ創出や育成を促進するため、市内に活動拠点を設け、市内活動拠点を軸として分野特化型のインキュベーション事業を継続的に実施し、市内での起業、本社登記を行うスタートアップを生み出す事業者に対して、事業実施に係る経費の一部を最長3年間支援。
寄附実績	10,000,000円

事業26	神戸ビーフの生産振興を支援する事業
事業概要	肉牛肥育農家・繁殖農家 の経営を安定向上させることを目的とし、 神戸市中央卸売市場西部市場 または家畜市場へ出荷した但馬牛 に対して支援を行う。
寄附実績	1,074,960円

事業27	未来の神戸作りに向けた大学等応援助成
事業概要	大学等への支援を目的として市が受け付けるふるさと納税による寄附金を活用し、大学等が実施する取組みに対する補助を行うことにより、学生の学びの支援や地域社会との連携事業、産官学連携の取組み等を推進する。
寄附実績	10,700,000円

事業28	こうべ女性活躍プロジェクト
事業概要	働きたいという希望を持つ女性や、職場でステップアップしたいと希望する女性が、その思いを叶え、また、男女ともに多様な生き方、働き方が実現できるまちの実現を目指している。 子どもを預けて、育休復帰の準備、就職活動、資格取得の勉強、仕事ができる無料のコワーキングスペース「あすてっぷコワーキング」の運営や、女子生徒等の理工系進路選択を応援する「理工チャレンジプログラム」などに取り組む。
寄附実績	13,357,398円

事業29	女性が活躍できる環境づくり
事業概要	将来にわたって持続可能な都市であるために、誰もがジェンダーにとらわれずに「私らしく」生きられるまちを目指し「私らしさプロジェクト」を実施。働き方や子どもを持つかどうか、結婚するかどうかなど、人生におけるさまざまなあり方について、自分の望む生き方を気兼ねなく実現でき、その意思が尊重されるまちが望まれると考えており、こうした考えのもと、ジェンダーに関わる多様な社会課題について、オープンミーティングやワークショップ等を開催し、市民や企業と理解を深めながら、広く発信することで、一人ひとりの選択や価値観を尊重する機運の醸成に取り組んでいる。
寄附実績	500,000円

事業30	安心・安全、健康でゆとりあるくらしの実現に資する事業
事業概要	令和7年度は寄附金全額を基金への積立てを充当しており、令和9年度以降、本基金を活用し、医療と介護の連携強化を図るため、医療機関や介護事業所等の関係機関における患者・利用者情報の円滑な共有を促進し、切れ目のない在宅医療・介護サービスの提供が可能となるよう、ICT連携ツールの活用環境の整備を行う。
寄附実績	1,000,000円

事業31	認定NPO法人支援事業
事業概要	民間（NPO等）のアイディアや力を活用した協働と参画の推進及び地域課題の解決や、活動団体の自立と持続可能な運営を目的として、認定NPO法人等の事前に登録があった団体に支援することを希望して寄附があった場合、寄附総額の9割を上限に当該団体に助成しているが、令和7年度は基金への積み立てを行った。
寄附実績	3,100,000円

事業32	神戸の海域における豊かな海づくり （チヌ対策）
事業概要	食害で課題を抱えるチヌ対策としてチヌ釣りイベントを実施し、奨励品として活用する。
寄附実績	151,140円（物納寄附：釣り用具）

事業33	こども本の森 神戸
事業概要	「こども本の森 神戸」は、基本コンセプトとして「こどもたちが命の大切さを学び、豊かな感性と創造力を育む場」の提供を掲げている。都心の公園の中で自由に本にふれあうことで、神戸の歴史や文化に出会い、また震災の教訓から命の大切さを学ぶなど、創造力を育むことを目的として、東遊園地（南エリア）に公の施設として令和４年３月25日に整備。施設運営や図書充実などに寄附金を充当し、継続的発展的な施設運営をめざす。
寄附実績	5,400,000円

事業34	若者の音楽振興に関する事業
事業概要	ロック・ポップス分野において音楽活動に取り組む若者に活躍の場を提供するとともに、人材発掘・育成につなげていくためのロック・ポップスバンドコンテスト「Battle de egg」の開催や、若者の音楽活動を通した神戸のまちの新たな魅力発見・活力向上への寄与を目指し、日本最大級の無料チャリティフェスティバルである「COMING KOBE」への補助等を行う。
寄附実績	5,000,000円

事業35	「神戸歴史遺産」の補修保全活動
事業概要	指定等文化財及び未指定文化財のうち神戸歴史遺産として認定された文化財を合わせて「神戸歴史遺産」とし、その修理・防災工事や公開・活用事業などに対して助成することにより、「神戸歴史遺産」の保存と活用を図る。他の寄付金及び一般財源とともに基金に一時的に積み立て、助成事業を実施する当該年度ないしは翌年度に基金より取り崩して助成。
寄附実績	100,000円

事業36	防災・減災の取り組み
事業概要	本事業は、安全・安心なまちづくりの推進の一環として、災害時における区役所機能の維持および避難所における通信環境の確保に活用し、地域全体の防災力・レジリエンスの向上に寄与します。
寄附実績	5,280,000円（物納寄附：モバイルバッテリー、ソーラーパネル型バッテリーチャージャー）